

会議名	(仮称)市民参画条例策定委員会グループ会議 平日昼グループ(要旨)		
日時	平成18年10月5日(木) 午前10時~12時	場所	市役所東館7階 701会議室
出席者	平日昼グループ 5名(前川、和田、土井、松本、黒木)		
	職員 1名(武林)		
内 容			
<p>第4回全体会議について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会(黒木)より 進行が上手くいかなかった反省 ・時間配分を事前に確認し 会議の前に説明をしておくべきだった ・各委員が行政に対してさまざまな思いや意見があるのは分かるが 行政の説明に対してはあくまで質問のみに限る。グループ会議で話し合い、そのとき出せなかった質問や意見を文書にて各担当者に提出し 答えをもらうようにしてはどうか <p>環境まちづくり推進体制 及び西宮市環境基本条例について</p> <p>全体会で時間が無かったので十分な質問が出来なかったが 以下の質問に答えていただけないだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民一般に知られていないように思うが どのような広報をしているのか ・パートナーシップ会議参加団体の活動と広報活動は どのようなものか ・エココミュニティ会議の地域単位が 何故中学校区なのか ・条例文についても質問をしたいが <p>「第3条(5) 広域的な連携を図ること。」とあるが 広域的な連携とは</p> <p>「第8条 2 評価組織の設置に勤める」とあるが 何故環境審議会では駄目なのか</p> <p>「第17条(5) 情報を収集し、及び提供する」とあるが 誰に提供するのか</p> <p>「第18条 参画する機会を確保し」とあるが パートナーシップ会議をさすものか</p> <p>意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パートナーシップ会議に市民団体が参加しているがそれをもって市民参加と考えているのか。団体からの委員はあくまであて職であって、環境問題に関心があるとは言いがたいのでは。 ・トップダウンでシステムが機能していくのか疑問だ。参画と協働というのが実態とずれているのでは。 			

今後の日程及び会議の進め方の確認

- ・全体会 10月28日(土) 11月25日(土) 12月16日(土)
- ・2時間ではどうしても時間が足りない 時間を6時半から9時としてはどうか(承認)
- ・今後 全体会で学習し、委員が知識を共有する場とする
- ・グループ会議で どのような参画協働があるか現状調査等をおこない問題点を明らかにし、市民が参画・協働する仕組みづくりを模索する

グループ会議での話し合いについて

参加者より提供資料

『テーマ：住民参加のまちづくり - 西宮市における「地区計画」の研究 - 』

- ・西宮市では震災以降、各地区でまちづくり協議会が多く設立され、住民主体で地区計画がつくられた。しかし、地区計画をつくった後も、継続的に活動をしているところはほとんどない。
- ・地域住民の意識を盛り上げていくことが課題となっている。計画をつくるのが目的ではなく、つくった後が大事。

参加者より行政へ依頼した資料

「団体等に対する補助金支出の見直し(個別)」

平成17年度 約27億5400万円の補助金が約180の団体に支出されている

西宮市第3次行財政計画において現在見直しが検討され二次評価が出された

18年度予算額は 22億6900万円

各補助金の交付目的、活動内容を見ると各種団体の参画と協働が少しは分かるのでは

その他

- ・前回の全体会議でアドバイザーから説明があったとおり、この委員会では、個別の政策提言を行うのではなく、市民の声が政策に反映していけるような仕組みを考えていく。
- ・市民参画や協働を進めていくためには、市民の意識を変えていく必要がある。そのためには、教育が大事になってくるのでは。
- ・市民が無関心になってしまったのは、市民が行政に頼りすぎており、自分達がやらないといけないという意識が薄らいできた結果のように思う。
- ・市民の参画協働が進むことによって地域格差が出ることは必至である。格差是正が出来るよう行政がサポートする体制作りが必要だ。そのためにも地域リーダーとしての人材育成が急がれる。